

令和8年 第2回 県政レポート

【編集発行】岩手県議会議員 佐々木 のぶかず

〒027-0501 岩手県下閉伊郡岩泉町字惣畑68番地2

【発行日】

令和8年8月2日(日) 発行

TEL 0194-22-2525

地域をつなぎ、世代をつなぎ、時代をつなぎ、未来を創る

岩手県議会議員

佐々木 のぶかず

いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

岩手県議会では、6月19日から7月3日までの15日間にわたり6月定例会が開催されました。今議会では、大槌渡市の大規模林野火災からの復旧・復興をはじめ、物価高騰対策や地域経済への支援、防災・減災対策など、県民生活に直結する補正予算を中心に活発な議論が行われました。

私は本会議の関連質問で、県職員による通報事案への対応について質すとともに、総務委員会では「経済的豊かさ全国1位」と評価された岩手県の現状を踏まえ、その成果を県民一人ひとりが実感できる地域づくりについて県の考えを伺いました。

また、議会での議論に加え、大槌町林野火災の復旧・復興に向けた国への要望活動や、港湾空港議員連盟、総務委員会の行政視察、各種団体との政策懇談会などを通じ、現場の課題や先進事例について調査・意見交換を重ねてまいりました。

本紙では、6月定例会で可決された補正予算の主な内容や、議会での質疑、そして最近の活動について分かりやすくご紹介いたします。

これからも「現場第一」を信条に、地域の声を県政へ届け、岩手県、そして宮古・下閉伊地域のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいります。

今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

岩手県議会議員 佐々木 宣和



PROFILE

岩手県議会：議会運営委員会委員、総務委員会委員、グローバル化・多文化共生調査特別委員会、東日本大震災津波復興特別委員会委員
自由民主党岩手県支部連合会：筆頭副幹事長・県連改革担当室長
その他役職：全国林業改良普及協会副会長、岩手県生活衛生同業組合中央会顧問、岩手県KB野球連盟会長
昭和58年11月23日生まれ42歳。岩泉小中、盛岡一高、早稲田大学理工学部卒業。
座右の銘：自彊不息 資格：防災士、脱炭素アドバイザーベーシック

6月定例会を振り返る

物価高分 47 億円を含む補正予算を可決 (詳細は裏面)

通常分 52 億円 (大槌町林野火災分 24 億円)、震災分 0.2 億円、総額 98 億円

- 大槌町林野火災の復旧・復興に向けた、被災者のくらしの再建、事業者のなりわいの再生、インフラの整備に要する経費を計上。
- 中東情勢や長引く物価高の影響を受けている生活者・事業者を支えるため、早急に対応が必要となる経費を計上。
- 危機的状況が続いているツキノワグマ被害に対応するため、対策の強化に要する経費などを計上
- 将来のリーダー育成と国際協力の強化を目指した「世界津波の日高校生サミット」の開催に要する経費などを計上

新副知事に畑山栄介氏が就任

6月定例会では、新たな副知事として畑山栄介氏の選任に同意しました。畑山氏は総務省や内閣府、消防庁、地方自治体で地方創生や危機管理、防災行政などに携わってきた豊富な行政経験を有しています。

国から副知事を迎えるのは、上野善晴副知事の退任以来13年ぶりとなります。私は議会運営委員会で、副知事に期待する役割について質疑を行いました。知事は、「国への要望活動による人事ではない」とした上で、「トップマネジメント体制の強化」を目的とした人事であると答弁しました。

人口減少対策や防災、国との連携強化に加え、県庁組織のマネジメントやガバナンスの強化など、これまで培われた豊富な経験が県政運営に生かされることを期待しています。

私の議会活動

「岩手が日本一豊かな県」の秘密とは？

国土交通省が公表した「経済的豊かさ」の分析で、岩手県は全国1位となりました。

しかし、「なぜ1位なのか」「県民は本当に豊かさを実感しているのか」など、さまざまな疑問もあります。総務委員会では、この結果を県政にどう生かしていくのかについて質疑を行いました。

詳しくはこちらから



6月定例会で可決した補正予算について主な事業

1. 大槌町林野火災対応

- 避難所の設置・運営、中小企業者の復旧支援や大槌町が実施する観光需要喚起策への支援、被災木の伐採や治山ダム・砂防堰堤の設置など、「くらしの再建」「なりわいの再生」「インフラの整備」に向けた対策を実施。
- 第2号補正：2,427 百万円

2. 物価高対策

- 令和8年度当初予算では、長引く物価高から県民の暮らし・仕事を守るため、家計負担の軽減策や地域経済の活性化に繋がる観光需要の喚起策等を実施。
- 第2号補正では、LP ガス使用者等への生活者支援、中小企業者や運輸・交通事業者、介護・福祉・医療施設や農林水産業者への幅広い事業者支援を実施。
- 第2号補正：4,743 百万円（予算総額 7,422 百万円）

(1) 生活者支援 関連【補正予算額：907 百万円（予算総額：2,065 百万円）】

- 【新】1 **LPガス価格高騰対策費 899 百万円【復興防災部】**
LPガスの料金を値引きする小売事業者及び工業用としてLP ガスを使用する中小企業者に対して支援金を支給（一般消費者 2,100 円など）
- 【新】2 **学校給食物価高騰対策等支援費 8 百万円【教育委員会】**
物価高による県立学校の給食費の値上げ分を支援

(2) 事業者支援 関連【補正予算額：3,836 百万円（予算総額：5,357 百万円）】

- 【新】1 **バス事業者運行支援緊急対策交付金 22 百万円【ふるさと振興部】**
乗合バス事業者に対して、物価高に伴うかかり増し経費の一部を支援（4.1 万円/台）
- 【新】2 **タクシー事業者運行支援緊急対策交付金 28 百万円【ふるさと振興部】**
タクシー事業者に対して、物価高に伴うかかり増し経費の一部を支援（1.6 万円/台）
- 3 **いわて花巻空港利用促進事業費 69 百万円【補正後現計 210 百万円】【ふるさと振興部】**
航空運賃等の高騰により訪日旅客の減少が見込まれることから、花巻空港の国際線の維持・安定的な運航に向けた取組を支援
- 4 **私立学校運営費補助 24 百万円【補正後現計 3,181 百万円】【ふるさと振興部】**
私立学校に対して、物価高に伴うかかり増し経費の一部を補助（最大 95 万円/校）
- 【新】5 **地域公共交通 E V 等導入支援事業費補助 60 百万円【環境生活部】**
地域公共交通事業者等に対して、EV バス等の購入経費の一部を補助
- 【新】6 **社会福祉施設等物価高騰緊急対策支援費 735 百万円【保健福祉部】**
介護施設や障がい福祉施設等に対して、光熱費や食材料費の上昇に伴うかかり増し経費の一部を支援（例：入所施設 13,700 円/定員1 名）
- 【新】7 **医療施設等物価高騰緊急対策支援費 437 百万円【保健福祉部】**
医療機関等に対して、光熱費や食材料費の上昇に伴うかかり増し経費の一部を支援（例：病院等 基礎 230,000 円+ 21,300 円/床）
- 【新】8 **運輸事業者運行支援緊急対策費 355 百万円【商工労働観光部】**
貨物自動車運送事業者に対して、物価高に伴うかかり増し経費の一部を支援（2.5 万円/台）
- 【新】9 **中小企業経営安定資金保証料補給補助 228 百万円【商工労働観光部】**
中東情勢等の影響を受けている事業者を支援するため、岩手県信用保証協会が行う信用保証事業に要する経費の一部を補助
- 【新】10 **特別高圧電力利用中小企業者電気料金支援金 33 百万円【商工労働観光部】**
特別高圧電力を利用している中小企業者等に対して、支援金を支給（1kWh あたり 1.8 ～ 2.3 円）
- 【新】11 **貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 28 百万円【商工労働観光部】**
貸切バス事業者に対して、物価高に伴うかかり増し経費の一部を支援（4.1 万円/台）
- 【新】12 **スマート農業機械等導入緊急対策費 96 百万円【農林水産部】**
農業者に対して、低コスト・省力化に資する農業機械等の導入経費の一部を補助（補助率 1/2）
- 【新】13 **肥料コスト低減技術活用環境整備事業費補助 10 百万円【農林水産部】**
化学肥料の一部を畜産由来有機質肥料等に代替して栽培する際に必要な農業機械の導入経費の一部を補助（補助率 1/2）

- 【新】14 **農業資材価格高騰緊急対策費補助 157 百万円【農林水産部】**
農業者に対して、資材の価格高騰に伴うかかり増し経費の一部を補助（最大 9 千円/10a）
- 【新】15 **配合飼料価格安定緊急対策費補助 1,376 百万円【農林水産部】**
畜産経営体に対して、配合飼料購入費の高騰に伴うかかり増し経費の一部を補助（最大 2 千円/t）
- 【新】16 **農業水利施設省エネルギー化推進対策費補助 27 百万円【農林水産部】**
土地改良区に対して、電気料金の上昇に伴うかかり増し経費の一部を補助（高騰分の 1/2 または 7/10）
- 17 **スマート水産業機器等導入支援事業費補助 36 百万円【補正後現計 108 百万円】【農林水産部】**
省力化機器の導入により、効率化など構造改善と安定経営に取り組む漁協を支援する経費の一部を補助（補助率 1/2）
- 【新】18 **水産業資材価格高騰緊急対策費補助 109 百万円【農林水産部】**
漁業者等に対して、資材の価格高騰に伴うかかり増し経費の一部を補助（例：小型漁船漁業者及び養殖業者 最大 28 万円/者）

3. 通常分【補正予算額：2,660 百万円】

- 1 **指定管理鳥獣対策事業費（ツキノワグマ総合対策）86 百万円【補正後現計 274 百万円】【環境生活部】**
市町村が実施する出没防止対策の強化や県のガバメントハンターの活動日数増などに要する経費
- 2 **ツキノワグマ被害防止対策事業費 9 百万円【補正後現計 28 百万円】【環境生活部】**
ツキノワグマによる人身被害防止を図るため、テレビ CM や新聞広告等の広報に要する経費
- 【新】3 **医療機関業務効率化・職場環境改善支援事業費補助 250 百万円【保健福祉部】**
病院に対して、業務効率化や職場環境改善に必要な ICT 機器等の導入に要する経費を補助
- 【新】4 **モニタリング強化型特別資金貸付金 1,333 百万円【商工労働観光部】**
経営状況の早期把握及び支援者が連携して行う経営支援等により、事業者の経営力の向上を促すための融資制度創設に要する経費

4. 震災分【補正予算額：21 百万円】

- 【新】1 **世界津波の日 高校生サミット開催費 11 百万円【復興防災部】**
自然災害への理解を深め、過去の教訓を活かした、将来のリーダー育成と国際協力の強化を目的としたサミットの開催に要する経費

6月定例会で議員・委員会が提出した議案について

旅客船・遊漁船に対する安全設備の義務化に関する柔軟な運用と安全設備導入に係る支援の拡充を求める意見書

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

消防団員の出動報酬に係る処遇改善等に関する意見書

自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書

など 17 件が可決されました。

詳しくは、



請願・陳情について

免税軽油制度の継続を求める請願のほか 6 件が採択、1 件が一部採択となりました。

詳しくは、



大槌町林野火災にかかる中央省庁要望



7月 4日、大槌町の大規模林野火災に関して省庁要望を実施しました。（自民党本部）鈴木俊一幹事長、（総務省）大沢博消防庁長官、（農林水産省）山本啓介大臣政務官、（内閣府）あかま二郎特命担当大臣にそれぞれ要望いたしました。特に、昨年の大船渡市に続く大規模林野火災となったことを重く受け止め、森林再生の事業が円滑に進むよう、引き続きしっかりと取り組んで参ります。

港湾空港議員連盟視察



港湾空港議員連盟の視察に参加し、神戸港や阪神国際港湾株式会社などを訪問しました。国際物流の拠点機能やカーボンニュートラルレポートの取組、クルーズ船の受入体制などを調査し、港湾が地域経済を支える重要なインフラであることを改めて実感しました。今回の学びを、宮古港をはじめとする県内港湾のさらなる活性化につなげてまいります。

詳しくは、



政策懇談会を開催



6月18日、20日など複数日にわたり、自民党岩手県連・県議会自由民主党会派による政策懇談会を開催し、農林水産業、商工業、医療・介護・福祉など、幅広い分野の団体の皆様からご要望やご意見を伺いました。物価高騰や中東情勢の影響、人手不足への対応など、地域が直面する課題について率直なご意見をいただき、今後の政策立案に向けて大変有意義な機会となりました。今後は、市町村重点要望調査も実施し、地域の声を取りまとめた上で、岩手県や国に対し、必要な施策の実現に向けて積極的に要望・提言を行ってまいります。

総務委員会行政視察を実施



きました。今後の県政への提言に生かしてまいります。

詳しくは、



ご要望に応じて、いつでも、どこでも県政報告会を開催いたします! E-mail または公式 LINE からお気軽にお問い合わせください。

皆様のご意見をお聞かせください! ▶ E-mail nobukazu.sasaki.555@gmail.com 公式 LINE ▶

佐々木のぶかず事務所 〒027-0501 岩手県下閉伊郡岩泉町字惣畑 68 番地 2 TEL (0194) 22-2525 FAX (0194) 22-3626 HP <http://www.nobukazusasaki.club/>

